

施術の手順と注意事項

1. 施術の1時間前には冷蔵庫からマウストレーの箱を取り出します。トレーは、未開封の状態ですべて室温にしておきましょう。使用しなかった場合は、室温が23度以下であれば、その日の終わりに冷蔵庫に戻しても問題ありません。
2. 施術前に照射器のライトカバーを消毒剤で拭きます（ライトカバーは、適切に消毒していれば100回以上使えます）。使用する消毒剤は、照射中に患者様の口内に入ることもあるので、適切なものを使用します。
3. 患者様と一緒に同意書を確認し、患者様の健康状態が施術に適しているか確認します。妊娠中または授乳中の女性や、14歳以下のお子様には施術できません。患者様に全ての項目を確認いただき、同意の署名をいただけてください。ホワイトニングの結果には個人差があり、1回の施術での平均的なシェードの変化は、元の歯の色にもよりますが、2から4段階です。
4. 歯に亀裂があったり割れたりしている箇所の着色は白くはならず、施術後に色が濃くなる場合がありますので、施術前に必ず歯科医師に相談してください。
5. ビタミンEオイルをたっぷりと唇に塗ります（歯にはつけないように注意します）。二本目の綿棒は、患者様の唇が荒れている場合に、施術の途中または後に塗ります。
6. 患者様にこれから起こることを説明します。ジェルは、最初に歯に触れた時は冷たく感じられ、ライトは温かく感じられます。ジェルに触れている歯と歯茎に、洗口剤を使用した時のようなピリピリする感覚が生じることがありますが、正常な反応で一時的なものです。唾液が多めに分泌されることがあります。
7. **重要!** 患者様にトレーを口に入れてもらい、前歯でやさしくトレーを噛み、ジェルが歯の前面につくようにしてもらいます。トレーを深く噛み過ぎると、ジェルが歯の裏側まで流れてしまい、期待する効果が得られなくなります。顎には力を入れず、また、深く噛み過ぎないようにしてもらいます。ジェルが歯茎にまで押し上げられている場合は、一旦トレーを患者様の口から取り出し、歯茎を拭きます。トレー内のジェルを綿棒で押し戻してから、再度患者様の口に装着します。
8. 患者様に90度の角度で座っていただきます（背もたれを倒さないようにします）。照射器を上下のリップレストの間に挟みます。施術中は患者様の口角にサクションがあっても良いでしょう。
9. ライト照射後3分以内に患者様が不快ではないか確認します。しみる感覚は、ほとんどの場合、照射後5分以内に生じます。患者様に、指で不快感を1から10の段階で示してもらいます。4以上を示された場合は、このまま続けられるか確認します。6以上では、一旦照射を停止し、トレーを口から取り出します。患者様がしみを訴える歯茎の箇所のジェルを吸引し、ガーゼで拭きます。トレー内のジェルを、歯茎につかないように綿棒で内面に押し込み、再度口内に装着します。照射後、再度しみを感じないか確認し、まだしみている場合は、照射を止めます。この場合は日を改めて行います。
10. 施術後、患者様にジェルを完全にすすいでもらいます。歯茎のしみを訴えたり歯茎が白くなっている場合は、Rincinol®で60秒すすいでもらうか、残っているビタミンEオイルを歯茎の該当箇所に塗ります。
11. 患者様に、すすいだトレー、ホームペン、「施術後の注意事項」、「ホームペンの使用方法」をお渡しし、自宅にお持ち帰りいただきます。次回のクリーニングとホワイトニングの予約を取ります。